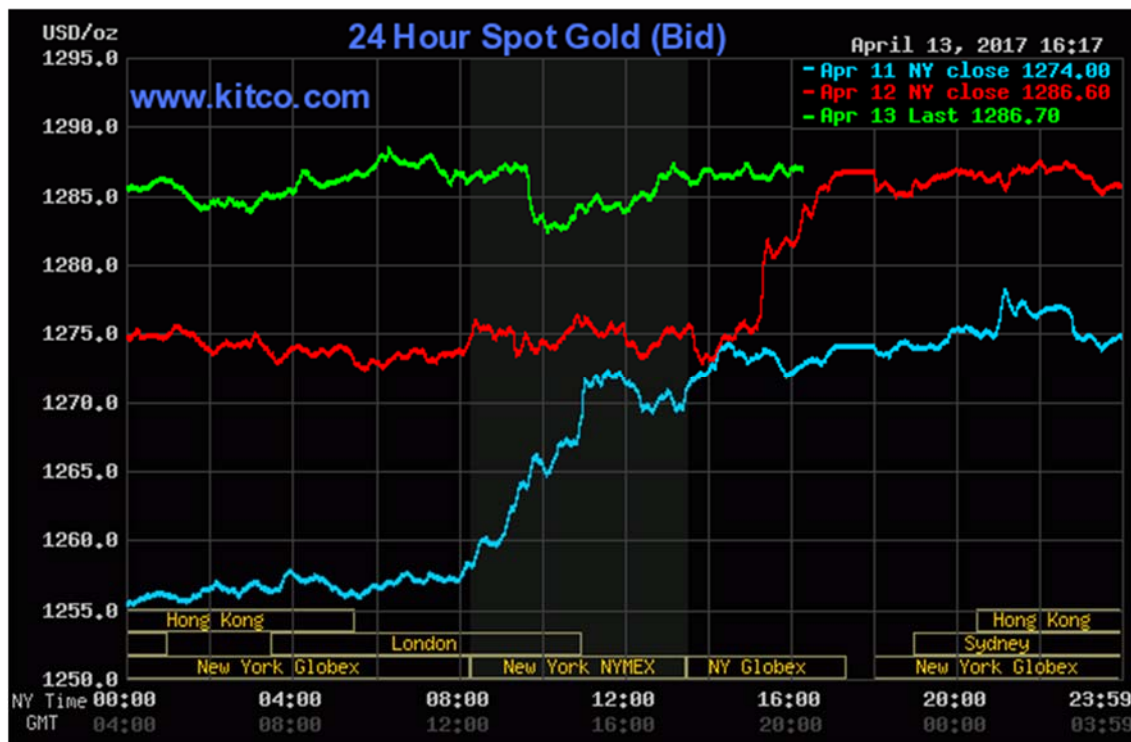


2017/4/14

(日々雑感 77)



(グラフの見方は、ブルーが前々日、赤が前日、グリーンが今日(当日)です)

相当にヤバい状況になっていると思います。

トランプさんはツイッターで米国の単独行動、つまり朝鮮半島の北にある国の空爆を臭わせました。ここまで言って、何もしなかったら相手には完全になめられ、つけあがらせるだけになりますし、米国内の指導力は地に落ちてしまいます。

もはや振り上げた斧は下すしかない状況です。

それをソフトに振り下ろすか、ハードにドンとやるかは中国の出方次第でしょう。

恐らく中国はぎりぎりまで、北の国を米国と共同で押さえるための協力を申し出ないでしょう。

なぜなら、ひとつは米国に中国の価値を高く売りつけるためや恩に着せるため(つまり後々の発言力と手札カードを増やすため)と、今ひとつは仮に武力で北にある国を制圧し、その後が信託統治領にでもなると、自国のあるアジア大陸のど元に信託統治国の一つとして駐留してくる米国の刃を置くことになる可能性があるからです。

これは中国が一番怖れることなので、やりたい放題の無茶ぶりをする妙な国であるその国のわがままを見て見ぬふりをしているのはそのためではないかと思っています。

となると、ぎりぎりまで決着は付きそうもありません。

その一方では軍事的、政治的緊張はいやが上にも高まっています。不気味なのは有事の際の超安全資産である「国際金価格」が近頃やたら上昇している事です。

国内のメディア報道をためつすがめつ検証しているより、こちらを見ている方がよほど、事態の緊迫度が分かります。

米国が超絶金融緩和（超低金利金利）を辞めて利上げをした。金利を生まない金ですから、普通は金利が高く付くはずのドルが上がって、反対に金は下がるはずなのに、上昇している。しかも急激に。つまり、今はドルよりも金を持っていた方が良いと市場参加者が判断しているからです。諸説があるので一概にその効用は言えませんが「有事の際の金」と言うわけです。

ここ1週間から2週間が山だと思います。

中国が土壇場にせよ協力しなければ、間違いなく北の方の国への空爆か特殊部隊の投入があるでしょう。そして最悪の場合は、その妙な国のミサイルが我が国のどこかに被弾する可能性も排除できない事態になっているような気がしてなりません。

今日防災グッズを一つ買い置きました。

何もなければそれはそれでよし。あればあったで多少なりとも役に立ちますから。